

前置血管のMRI診断

- Magnetic resonance imaging of vasa previa (RSNA2014)

- 前置血管とは臍帯の血管が胎盤組織・臍帯組織に保護されずにする産道を走行する病態で、児にとって致死的で、帝王切開が必須
- 前置血管のMRI所見に関する報告は少ない
- 経膈エコーにて前置血管が疑われ、MRIが撮像された6例を検討した。
- MRIでは5例において存在診断が可能であった。
- 2例がType1、1例がtypeII、3例は典型的な2型に分類が困難であった。
- 超音波で診断されなかった卵膜付着や環状胎盤をMRIで診断し得た。
- MRIは妊娠子宮の全体像を超音波より把握しやすいと考えられ、**胎盤の形態異常の評価に有用**と思われた。